

スリーピース

令和2年 5月 11日
北区立浮間小学校
3学年便り 5月号

新年度が始まって1か月が過ぎました。休業期間中、保護者の皆様には、お子さんの健康管理や課題の丸付けなど、ご協力くださり本当にありがとうございました。学校にとって子供たちの笑顔や笑い声のあふれる光景が、当たり前ではなく大切に愛おしいものだったかが分かった休業期間となりました。

保護者の皆様には、引き続き、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活リズムを整え、手洗い・うがいを励行しながら体調管理をお願いいたします。

《浮間 j p》

私たちも浮間小のみんなに元気を届けたくて、チャレンジしました。YouTubeから「浮間 j p」と検索してみてください。

《さ・わ・や・か・だ》

毎日の食事に悩んだときは、「さ・わ・や・か・だ」で栄養バランスのよい食事を取り入れてください。

④ さ かな



④ わ しょうく



④ や さい



④ か いそう



④ だ し・大豆製品



ご用意ください

《習字道具》

6月から学習を始める予定です。小学生の兄妹と共用せず個人持ちとします。学校でも紹介しますので、申し込み袋を参考にしてください。申し込み袋での購入は、必要事項を記入の上、代金を添えて、次回の登校日にお子さんに持たせてください。

《国語辞典》

お下がりでないもの。綴りりがな付き。（詳細は次頁の辞書引き学習参照）

休校中の学習の内容について

配布した封筒の中身を確認しながら、お子さんと一緒に読んでください。

○国語

音読・・・家の人に聞いてもらい、音読カードにサインをもらいます。

ワークシート・・・音読するページに合わせて、使うワークシートがあります。

教科書をよく読み、とり組みます。

漢字れん習・・・これまでとやり方は同じですが、一日3文字ずつ漢字ノートに書きます。ていねいに書いておぼえます。

視写（ししゃ）・・・「どきん」をていねいにうつし、ひとことかんそうを書きます。

○算数

算数ドリル・・・2～9、16をドリル用ノートにやります。

3年生で学習する内ようです。分からないところは、教科書を見て考えましょう。どうしても分からないところは、先生が電話したときにしつもんしてください。お家の人に〇つけをしてもらい、まちがえたところは、すぐに直します（赤えんぴつで）。

かけ算九九・・・まだすらすら全部言えない人は、毎日となえてかくじつにおぼえます。（わり算の土台になります。）

○社会

地図のやくそくや地図記号をおぼえる。

・・・「小学生の地図帳」「わたしたちの北区」の教科書をつかってワークシートで学習します。

○理科

ハウセンカをうえてそだてる

- ・・・ハウセンカのタネを3つぶくばりました。かんさつして、かんさつカードに記ろくします。(色、大きさ、もよう、数などをしらべる)
- かんさつカードは3まい。(タネのようす、子葉のようす、本葉のようすが分かるように3回かんさつするようにします。)

「NHK for school」の3年生理科の番組『ふしぎサイエンス』を見て、ワークシートのかだいにとり組みます。

○ローマ字・・・ローマ字ノートにていねいにれん習して、おぼえます。

○道とく・・・家の人に読み聞かせをしてもらうか、自分で音読してお家の人に聞いてもらうかしましょう。ワークシートに3行かんそうを書きます。

○学活・・・①3年生のイメージキャラクターとニックネーム(名前)を考えてください。

学年便り「スリーピース」の言葉をヒントにして考えます。

②お世話になったみのわ先生にお礼のお手紙を書きます。空いているスペースに絵をかいてもいいです。

○辞書引き学習 じしょびきがくしゅう・・・1日10分10こ。毎日やります。国語辞典が用意できたらスタート。

○一行日記

そのほか、○図工 ○音楽 ○体育 ○英語 ○読書 ○家のしごと などができるように時間わりを作りました。きそく正しい生活をしながら学習をすすめてください。

<辞書引き学習について>

自宅学習のこの時期に、国語辞典を引くことを習慣化したい(国語辞典と仲良しになってほしい)と思います。下記の内容をよくお読みの上、ご協力をお願いいたします。

必要なもの(用意してください)

① 自分専用の『国語辞典』・・・お下がりでないもの。綴りりがな付き。

小学生向けのものが、三省堂、小学館、学研、光村教育図書などたくさん出版社から出ています。どれがよいかと質問されますが、一つを選ばないくらいそれぞれのよさがあります。できれば、本屋さんで本人が選ぶのがよいです。(同じ言葉を複数の辞書で引いて、言葉の説明を読み比べてみて、お子さんがピンとくるものを選ばせる。)

でもこのご時世です。ネットで購入してもよいです。

② 付箋紙・・・2×5cmくらい。辞書引き用付箋というものも売られています。

③ 鉛筆、消しゴム

手順

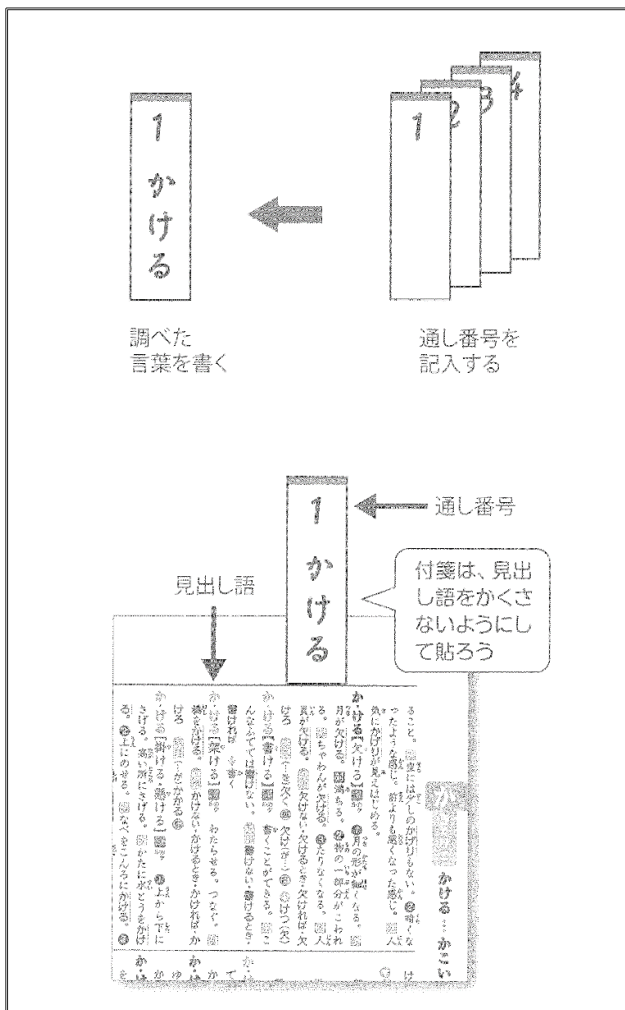
- ① 付箋に通し番号をふる。
- ② 辞書を開いて、「知っている言葉」を探す。
- ③ 見つけた言葉を付箋に書いてページに貼る。
- ④ 毎日10分辞書を開く。(辞書引きの時間を決める)
(1日言葉10個、10日で100個、3ヶ月で1000個近くになる。)
- ⑤ 付箋が増えたら褒める。

お家の人に気をつけてほしいこと

- ★遊び感覚で楽しく行う。
- ★付箋の端に「通し番号」書くことを忘れない。
- ★辞書の紙ケースは捨てる。ブックカバーははずす。
- ★辞書は棚にしまわず、いつも机の上におく。
- ★意味を読みなさいと言わない。(→面倒くさがる)
- ★子どもの引き方にケチをつけない。



- ★付箋が1000枚を超すと、意味を調べるようになる。



約 3,000 枚の付箋が付いた国語辞典。

参照

『辞書引き学習で
子どもが見る見る変わる』
深谷圭助 / 小学館